



SAC—脱中心化知能アプリケーション生態
自己進化の脱中心化経済

目次

はじめに	03
第一部分：脱中心化知能アプリケーション生態	04
1.1、ブロックチェーンの現状	04
1.2、SAC生態.....	05
1.3、自己進化の脱中心化経済.....	06
第二部分：SACの構造	08
2.1、技術構造.....	08
2.1.1、アプリケーションチェーン	08
2.1.2、データチェーン	13
2.1.3、クロスボーダーのやり方	15
2.2、アプリケーションの構造	16
2.2.1、ウォーレット	17
第三部分：SACアプリケーション	17
3.1、ゲームアプリケーション	17
3.1.1、鳥の天国.....	17
3.1.2、獵魚達人.....	18
3.1.3、ボール類予測	18
3.2、企業級アプリケーション	19
3.2.1、企業通信ーグループチャット.....	19
3.2.2、暗号化通信ープライバシーチャット.....	20
3.2.3、電子商ショッピング.....	21
第四部分：SACトークン	22
4.1、SACトークン配分	22
4.2、基石投資者.....	23
第五部分：基石投資者の協力	23
第六部分：チームの紹介	25
第七部分：奨励計画.....	26
第八部分：免責と声明.....	27

はじめに

当今のインターネット時代では、ユーザーデータは中心地位にある大手企業にコントロールされている、なのにサービスを提供するアプリケーションの開発者、及びデータの実際生成者は何れも直接データから受益できない、むしろ、大データ時代では、データの実際生成者であるユーザーはデータが随意に使用されるのと同時に、真実な利益さえ損害されている。

ブロックチェーン技術の出現で、脱中心化を可能にした。我々は、脱中心化的インターネット生態を構築して、データをユーザーに所有させ、ユーザーとデータの使用者を繋げることが、本当に使用者に受益させる解決方案だと認識している。

第一部分 脱中心化知能アプリケーション生態

1.1、ブロックチェーンの現状

2009年にビットコインが大ヒットして以来、益々多くの組織と機構がブロックチェーンという新興技術モードに注目し始めた。ブロックチェーンはポイントツーポイント（P2P）的な分散式技術であり、このような技術モードは金融、供給チェーン及びその他のアプリケーション場面における信用問題を改善し、公平、透明なアプリケーション環境を維持することができる。

ブロックチェーン技術は中心コントロールポイントが必要なく、コストが適切なビジネスネットワークを構築することができる、伝統的な中心化ビジネスシステムと比べると、ブロックチェーン技術はもっと高効率で、さらに基準化である。

性能のボトルネックが存在するものの、顕著な透明と改竄不可の優勢に依託して、ブロックチェーンは支払い決済及び一部のデータ処理に基づくアプリケーション場面における前景は幅広いのである。但し、現在企業級のブロックチェーンアプリケーションは依然として稀である、その中の原因は主に二つの方面に分けられる：

一つは現在のブロックチェーンが業務論理に対して

友好的ではない、伝統的なアプリケーション開発者は快速にブロックチェーンへ切り替えできない；

二つ目は匿名性があるため、アプリケーション開発

者はユーザーデータを通じてアプリケーションに対して最適化することができない、同時にこれは主流の管理監督体系と互換性がない。

1.2、SAC生態

SAC: 全称はSmart Application Chain即ち知能アプリケーションチェーンであり、その旨はブロックチェーンと人工知能に基づくアプリケーション生態システムを構築することである。アプリケーション開発者に「業務とデータオンライン」、「ユーザー画像データ共有」、「人工知能推薦システム」、「業務融資」、「トークン取引」を含めたワンストップ式サービスを提供する。

SAC生態に二つの共有チェーン体系が含まれる： アプリケーションチェーンとデータチェーン。この二つの体系の間にクロスボーダー応用が実現されている。

アプリケーション共有チェーンの中で、SAC生態はすでにアプリケーション開発者の為にユーザ一体系および権限コントロールを処理し、コンセンサス機制のプラグイン可能性を実現し、かつDocker簡易配置を通じて、アプリケーション開発者が主要勢力を業務論理に集中することができ、本当の意味での開発者友好を実現した。同時に管理監督の入口を提供することにより、生態全体の合法性と安全性を保証し、もっと主流企業級市場に受け入れられやすいようにした。

データチェーンはデータ採集／データ分類／データまとめ／データモデリング／データ伝送／データ使用の整備した体系を実現し、ユーザーのデータはユーザー画像の方式でデータチェーンに保存され、データはユーザー自身で所有し、ユーザーの授権を得た後に、データチェーンはアプリケー

ションチェーンとクロスボーダー応用を行い、アプリケーション開発者がより良くユーザーにサービスができるようにした。

SACの基礎貨幣はSmart Application Coinであり、同様にSACと略称される。SACはアプリケーション生態の基礎支払い貨幣であり、例えばユーザーがSAC生態に基づく暗号化チャットシステムを使用した場合、SACをサービス費用として支払う必要があり、ユーザーがゲームに参与した時もSACを支払って道具及びサービスを購入しなければならない。

現在SAC知能アプリケーション生態はすでに複数のアプリケーション開発者と連携しており、「鳥の天国」、「猟魚達人」、「ボール類予測」などの数多くのブロックチェーンゲームアプリケーション、及び企業旧の暗号化通信アプリケーション、電子商ショッピングシステムは相次いでSAC生態に進出した。

1.3、自己進化の脱中心化経済

現在中心化のインターネット経済では、ユーザーのデータは中心機構に取得されているが、これらのデータの使用を限定するルールがない、中心機構がそれらのデータを悪用するコストが非常に低い、ユーザーはデータの生成者として、逆に大データの被害者となり、この点は如何にも不思議である。

SAC生態の中では、データはユーザー画像の形式でブロックの中に保存され、授権を経た後に、これらのデータは脱中心化深度学習システムにより

処理され、アプリケーション開発者にデータ指示を提供する、データ授権を通じて、一般ユーザーはアプリケーション開発者がデータを使用する収益が共有することができ、そうすることによって、一般ユーザーの更なる授権ユーザー画像のデータ使用を激励し、ユーザーがデータを掌握し、データから受益できるようにした。

アプリケーション開発者にとっては、ユーザーのデータコストが大幅に削減され、真実性が大幅に高まり、開発者は「保護費」を支払わなくても良くなる。それに伴い、開発者はもしデータを濫用した場合、取引のトレザビリティにより、開発者の悪質な行為は記録され、かつ懲罰されるため、開発者自身の悪用コストを極めて高くすることができる。

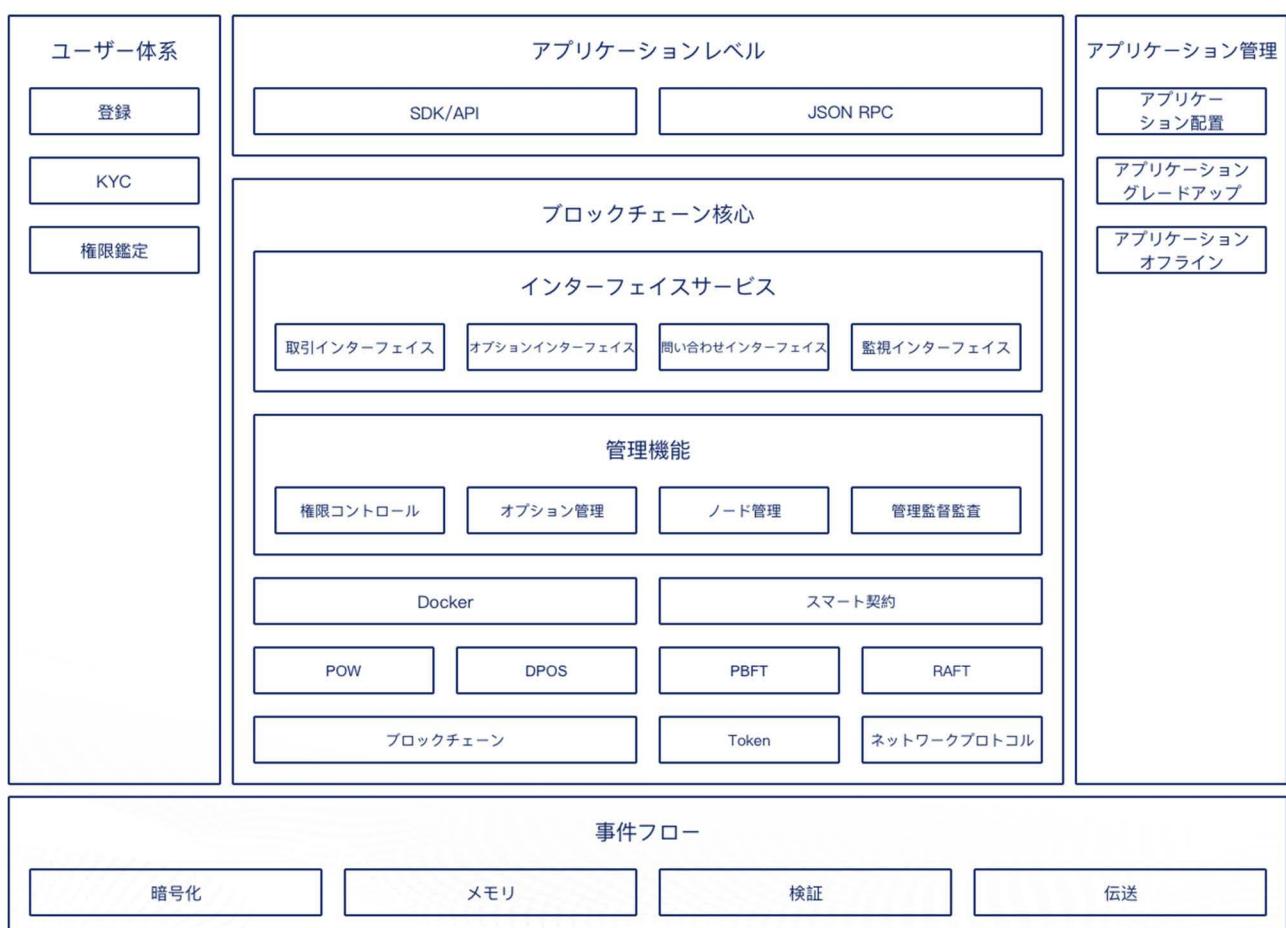
SAC生態の中で、データ生成、データ処理及びデータ使用は全て脱中心化システムに基づいており、アプリケーション開発者にとって、アプリケーションの資金募集からデータ収集まで、SAC生態の中でフルセットの解決方案が見つけられる、これは独占中心が存在しない、完全に自己駆動、自己賞罰機制を実現する知能生態システムである。

第二部分 SACの構造

2.1、技術構造

共有チェーン+連盟チェーン構造のダブル共有チェーン体系、サイドチェーンの方式を採用してクロスボーダーの応用を行い、ブロックチェーン+深度学習技術を通じて自己進化の脱中心化アプリケーション生態を構築する。アプリケーション開発者にデータス追跡、アプリケーションオンライン、トークン資金募集のワンストップ式解決方案を提供し、最終的に生態全体をユーザーのデータ共有による受益、アプリケーション開発者のデータ使用による受益、ブロックチェーン自己進化の平衡状態を達成する。

2.1.1、アプリケーションチェーン



ユーザータイプ

SACアプリケーションチェーンはすでにアプリケーション開発者の為に登録、KYC及び権限鑑定機能を含めたユーザータイプモジュールを完成している。

KYCは初級検証と高級検証の二つの方式が含まれる。

初級認証体系は氏名 + 身分証明書+携帯番号検証、即ち伝統的な三元素検証であり、SACはユーザーがアップロードしたデータに基づいて、データチェーンの中のデータとペアリングを行う。

高級認証はカメラを通じて頭部活動を採集し、生体判定を行うために使用する、同時にユーザーの携帯のカメラを通じてリアルタイムの写真を採集して、身分証明書の写真及び情報を同時に公安部署にアップロードして検証を行う。

ブロックチェーンの核心

- SACはDocker配置を採用して、企業級アプリケーションの配置の難度を低めた。ブロックチェーン技術に触れたことがない伝統的な開発者は、オプション環境、ツールをインストールしてからでしか本当にブロックチェーン技術に接触できる、この準備する過程では、バージョンの差異或いはその他の些細な差別で変なBugが引き起こすことがある。なので、真実な生産力環境の中で、快速オプションは開発者友好の必需な環節である。Docker配置をしようすることによって、アプリケーション開発者は大量は再構成時間を免除することができ、全体のシステムの基準化と効率も高めることができる。また、Docker配置を使用すれば、管理も便利になる、Docker技術は隔離スペ

ースを提供し、意外な状況（例えば停電）が発生した場合、技術者はサービスの運行状況が一目瞭然で観察することができる。

- SDK、インターフェイス、スマート契約に基づいて、各種業務アプリケーションを快速的に開発でき、多種言語でスマート契約のプログラミングのサポートし、業務開発のプロセスがもつと企業級ソフト開発の慣例に符合させる。
- SACのコンセンサスはプラグインモジュール化メカニズムを採用し、POW POS DPOS及び高効率なPBFTコンセンサスアルゴリズムにサポート、各種コンセンサスメカニズムを実現し、色々な業務需要に満足することができる。

POW作業量証明、アンドオーランジ演算を通じて、ルールに満足するランダム数を計算すれば、今回の記帳権が獲得し、記録が必要なデータを発送して、フルネットワークのその他のノードが検証した後に、一緒に保存する。

メリット：完全に脱中心化、ノードの出入が自由；

デメリット：現在bitcoinはすでに世界大半のコンピューティングパワーを惹き付けている、他のPOWコンセンサスメカニズムを使用するブロックチェーンアプリケーションは同じコンピューティングパワーを獲得して自身の安全を保障することが難しい；マイニングにより大量が資源の無駄使いが発生；コンセンサスが達成するリードタイムが長い。

Pos権益証明、Powの一一種のグレードアップしたコンセンサスメカニズムであり、各ノードが占めるトーケンの割合と時間に基づいて、同比率でマイ

ニングの難度を引き下げ、ランダム数を見つけるスピードを速める。

メリット：一定の程度でコンセンサスが達成される時間を短縮した；

デメリット：やはりマイニングが必要、本質上ビジネスアプリケーションの痛点を解決できていない、アプリケーションケース例：ネクストコイン、エテリアムはPow+POSの混合メカニズムを採用している。

DPos株式授權証明メカニズム、取締役会の投票に類似している、トークン所有者が一定数量のノードを投入して、彼らを代理して検証と記帳を行う。

メリット：検証と記帳に参与するノードの数量を大幅に縮小し、秒レベルのコンセンサス検証に達せる

デメリット：全体のコンセンサス機制はやはりトークンに頼る

PBFTビザンチンフォールトトレランスアルゴリズム、これは情報伝送に基づく一致性アルゴリズムである、アルゴリズムは三つの段階を経て、一致性を達成し、これらの段階は失敗することによって繰り返して行う可能性がある。

メリット：上記コンセンサスアルゴリズムは何れもトークンの存在から脱出できない、システムの正常な運行に必ず奨励機制が必要、システムの安全性は実際システムトークンの所有者により維持、保証される。我々のブロックチェーンシステムが実際にビジネスアプリケーションの運用されたときに、それが担う資産価値はシステムが発行したトークンの価値を遥かに超える可能性がある。もしトークンの所有者によりシステムの安全と安定性を保証するのは頼りにならないのである。

システムの運行はトークンの存在から脱出できる、pbftアルゴリズムコン

センサスの各ノードは業務の参与側或いは管理監督側により組成され、安全性と安定性は業務の関係側により保証される。コンセンサスの遅延は約2~5秒で、基本的にビジネス用リアルタイム処理の要求に達成できる。コンセンサスの効率が高く、高頻度の取引量の需要に満足できる。

- グループ別マルチコピー方式によるファイル保存にサポート、さらにブロックチェーンの中でファイルのハッシュ値と関連アドレス情報を保存し、ブロックチェーンの保存とネットワークシンクロ効率を高める。
- 管理監督ノードの導入により、合法性及び監査可能性がもっと保障される。
- SACは多種の暗号化モジュールにサポート。

アプリケーション管理

SACのアプリケーション管理モジュールはDocker APIを利用して遠距離ホスト中のブロックチェーングループを管理しているため、簡単に需要によってバーチャルマシンを提供するクラウド環境の中に配置できる。SDKとチェーンツールをオペレーションチェーンパスワードのインターフェイスとして使用し、ブロックチェーンサーチエンジンをダッシュボードとして導入することにより、開発者がダッシュボードを通じてプルの中の多数のブロックチェーンを作成、管理することができる、同時にユーザーが個別の請求を使用して快速にブロックチェーン上の情報が獲得できる。

共有チェーンの比較

	エテリアム	SAC	ビットコイン／ライトコイン／その他の暗号化貨幣
アプリケーションタイプ	アプリケーションプラットフォーム、各種アプリケーション契約が配置可能	アプリケーションプラットフォーム、各種アプリケーション契約が配置可能	単一なアプリケーション、単一スマート契約に類似する
プラットフォーム言語	Go	Go	アプリケーションが少ない
契約言語	Solidity/mix	Go	大半は C++である
ベース関数	少量	スタンダード Go データベース	N/A
契約配置	取引として発表	ノードにより直接配置	N/A
契約の更新	更新不可	ノードにより直接更新	N/A
契約の複雑度	複雑だと不可、文字列としてプログラミング必要	Docker に基づいて、複雑はプログラムにプログラミング可能	N/A

2.1.2、データチェーン



インターフェイス層：データチェーンはアプリケーションチェーンと交互することができ、さらに例えば保存と検証類のBaaS（ブロックチェーン即サービス）のインターフェイスサポートを提供する、ユーザーは自分のデータチェーン及びデータチェーンアプリケーションが開発できる。

二種類のノード：データチェーンは二種類のノードにより組成される、それぞれデータノードと深度学習ノードである。

一般ユーザーのユーザーエンドは何れもデータノードに加入して、ユーザーデータを提供してユーザー画像を形成する。ユーザー喉はPODコンセンサスを採用し、即ちユーザーが提供したデータ及び授権に基づいて貢献を判断し、アプリケーションチェーンのKYC検証を合格したあと、ユーザーは初めての身分タグ（tag）を取得する、我々は「データマイニング」の形を通じて、ユーザーにもっと多くのデータと授権を提供するように激励するのを期待している。

データ保護：ユーザー個人データのデータ主体はブロックチェーンの保存されず、データのHASHのみ保存する、ユーザー個人データの主体はペアの共有キーとプライバシーキーにより暗号化を行い、IPFS技術を利用して、SACのサイドチェーンに保存される、さらにデジタルサインを通じて非対称暗号化を行う。

DAPPの使用行為データはユーザー画像の形式でデータチェーンに保存される、同じくユーザーの共有キーとプライバシーキーを使用して暗号化を行い、ユーザーはデータを保存したブロックチェーンをチェックすることができる。

ユーザーはアプリケーションにデータの使用に授権する権利があり、進行中の授権をキャンセルする権利もある。

深度学習ノードは分散式深度学習システムにコンピューティングパワーを提供する。分散式深度学習システムは本質上データチェーンの一つのDAPPアプリケーションである。該当のアプリケーションのノードに加入して、

深度学習システムにコンピューティングパワーを提供することによって奨励を獲得する。

我々は開発者がデータチェーンに基づくアプリケーションの開発も激励している。

2.1.3、如何にクロスボーダーするか

SAC生態はサイドチェーンメカニズムを採用してクロスボーダー応用を行う。

アプリケーションチェーンは実際連盟チェーンと共有チェーンの組合せ構造にサポートしている。

全てのアプリケーションは何れもノードの授権を通じて、連盟チェーンシステムを組成でき、連盟チェーンはさらに基層のSAC共有チェーンに基づく。

データチェーン自身にもサイドチェーン構造が存在する、ユーザーデータの本体データはデータチェーンのサイドチェーン構造に保存される。

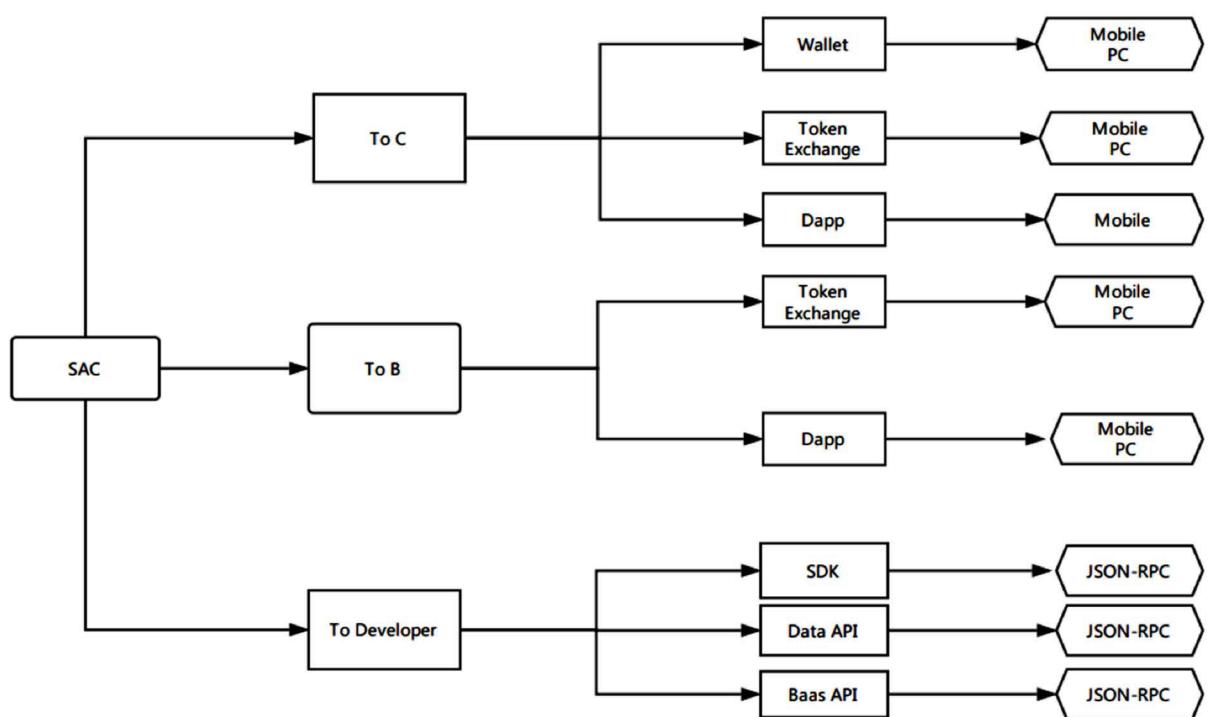
サイドチェーン構造のメリット：

サイドチェーン構造のメリットは、コードとデータが独立しており、メインチェーンの負担を増やさず、データの過度膨張を避け、実際は一つの天然な断片化メカニズムである。サイドチェーンに独立したブロックチェーンがあり、独立した受託人或いは証人がいて、同時に独立したノードネットワークもある、つまり一つのサイドチェーンで生成したブロックは全ての該当サイドチェーンをインストールしたノードのみで伝播される。

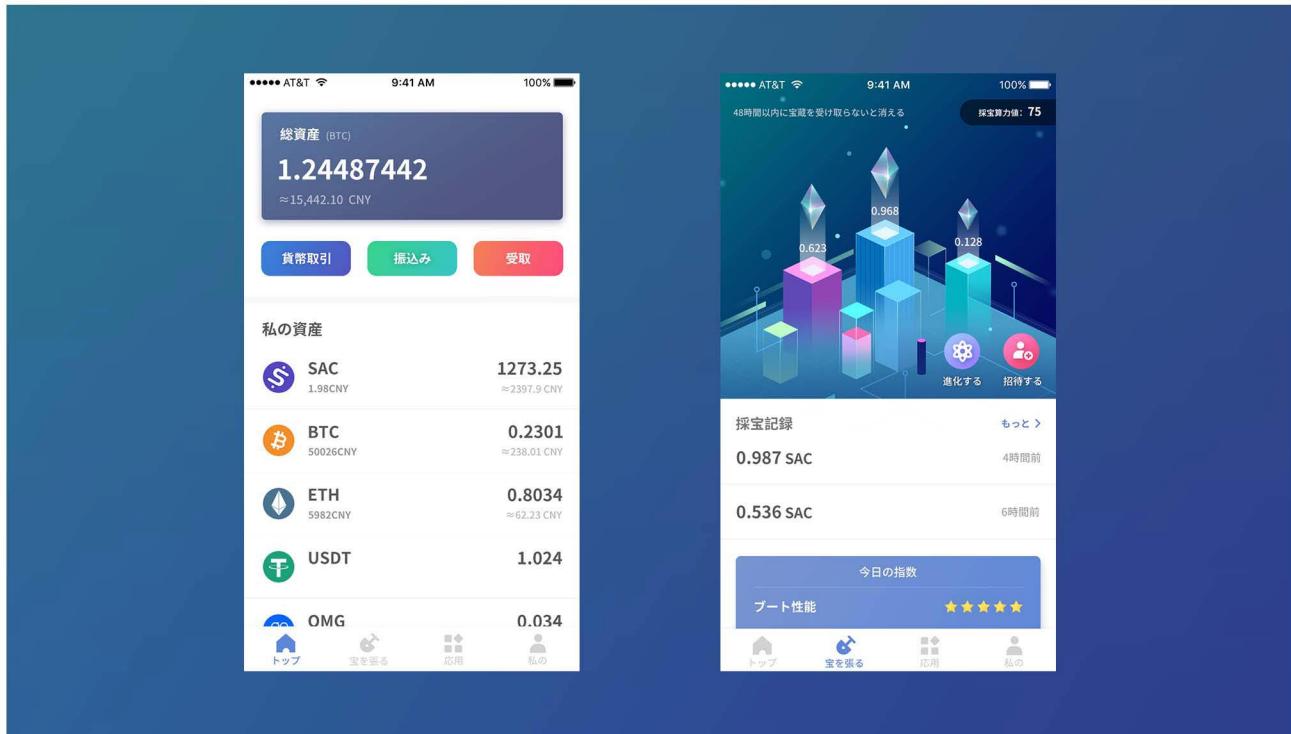
サイドチェーンの柔軟性:

サイドチェーンのノード及び権限は完全にアプリケーション開発者と使用者により決定されることが可能、全てのクロツクチェーンパラメータはカスタマイズ可能、簡単に言えば、例えばブロック間隔、ブロック奨励、取引料金の行方など。特に業務ロジックにとって、サイドチェーンによって簡単にあなたの業務と関連する取引タイプ或いはスマート契約が開発できる。

2.2、業務構造



2.2.1、ウォーレット



ウォーレットはSAC生態のアプリケーション入口及び資産管理のツールである。

第三部分 SACアプリケーション

3.1、ゲーム

3.1.1、鳥の天国

育成と戦闘システムが含まれり、ユーザーは餌の投入を通じてペット鳥のグレードアップを進めることができ、同時に鳥類の交尾により新しいペットの品種が生まれる可能性があり、新しいペット品種にさらに高いプロパテ

イ値があるかもしれない、プレーヤー間は戦闘が可能で、戦闘することによって、ペット鳥のプロパティ及び装備に変化が発生する。

鳥の天国はICOの形式を採用しておらず、持続可能な収益モデルによって運営を行い、餌の投入費用を請求することで営業収益を獲得している。鳥類の総量がコントロールされており、ユーザー間は鳥類ペットの取引を通じて収益を獲得することができ、それから低い確率でプロパティがもっと強い鳥類ペットが繁殖される可能性も存在する。

3.1.2、魚捕りゲーム

SACシステムに基づくレジヤーパズル類ゲーム。



3.1.3、ボール類予測

ユーザーはSACを通じてボール類の予測ゲームに参与する、参与する過程中に、他のプレーヤーのSACトーカンを勝ち取ることができる。

アプリケーションはユーザーの参与データを収集して、トレーニングモデルに使用し、もっと完璧な試合結果予測モデルを見つける。

3.2、企業級アプリケーション

3.2.1、企業通信－グループチャット



市場痛点：企業の内部通信に情報のセキュリティと隔離問題を解決する必要がある。

アプリケーション：ブロックチェーン+マルチ権限コントロール

- ・グループ部署間のコミュニケーションはそれぞれのブロックチェーンバーを形成し、それぞれの暗号化鍵にて暗号化する、ブロックチェーン間はお互い隔離される。

- ・マルチ権限コントロールを通じて、管理層は各種閲読及び情報使用の権限をコントロールすることができる。
- ・中心サーバーが必要なく、情報は全データノードに保存され、データを破壊する難度が極めて高い。

3.2.2、プライバシー通信—プライバシーチャット



市場の痛点：プライベートの交流情報はモニタリングされ、及び情報を漏洩される問題。

私たちの解決方案：ユーザーの間は点対点で交流し、情報を暗号化してから伝送する。

応用優勢：

- ・転送プロトコルは点対点であり、センターがないサーバーであり、第三方のブロックがない；

- 私人的な暗号を暗号化して復号化し、データの保密性が高い、情報を漏洩されても、読めれない。

全ての伝送記録はイーサネットブラウザに検索でき、当然、全ての伝送された情報は暗号化された。

毎ユーザーは自分の私密鍵を保存する必要が有り、もし私密鍵がなくなったら、過去の情報を改めて読めれなくなる。

3.2.3、電子商ショッピング

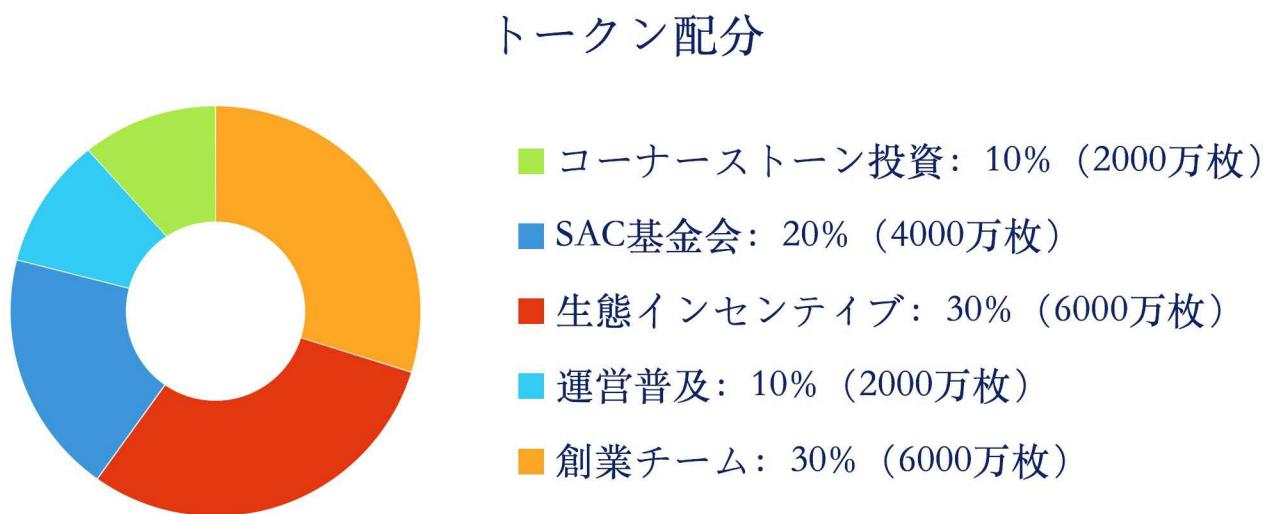
SACはすでに香港電子商プラットフォームと連携し、相手はSAC技術を利用して支払いと決済を行う予定。SACを利用して商品を購入すれば、さらに高い割引とポイントを獲得するチャンスがある。

電子商ユーザーの行為データはデータチェーンに保存され、また、ショッピング行為自身も顧客にポイントトークンを与える、取引所にて取引した場合、ユーザーはポイントトークンを通じて収益を得ることもできる。

第四部分 SACトーケン

4.1、トーケン配分：合計2億枚

SACは合計2億枚のERC20 トーケンを持ち、SACエコシステムに研究、技術サポート、運営普及を提供する。



コーナーストーン投資: 10%、初期投資家はSACの発展中に、財力、資源、戦略計画などに力を出す場合、SAC トーケンは報酬として発行され、ロックアップ期間は半年である。

SAC基金会: 20 %、投資機関、基金と協力して、商業を開拓し、商業応用の技術標準を制定し、SACの生態を維持するなど。

生態インセンティブ: 30 %、SACの生態建設に使用され、国際的な業務の発展、インキュベート応用、業務の激励、コミュニティユーザーのフィードバックなどを含む。第3者のアプリケーション開発者を誘致するために、SACはアプリケーション開発補助、および後続の普及サポートを提供する。

運営普及：10%、プラットフォームの建設、安全保障、市場への普及。

創業チーム：30%、創立チームがSAC製品、技術の支払いを維持することを激励するために、SPSトークンを発行して報酬とし、この部分のトークンを発行する時にスマート契約にロックされて、ロック期は半年で、2019年1月1日から、毎月5%のトークンはロックが解除される。

4.2、コーナーストーンの投資家

SACスマートアプリケーションチェーンは、2018年1月に基石投資家向けの融資行為を行った。

融資は約500万ドルで、発売したトークンの数は2000万枚で、総量の10%を占め、プロジェクトの推定値は約5000万ドルである。

資金調達に関わる主要なコーナーストーン投資家：

中金国礼：中国銀行への貴金属の最大供給元の一つ。

明豊ジュエリー：中国最大のジュエリーとゴールドのショールームの一つ。

第五部分 コーナーストーン投資家の協力

コーナーストーン投資家は、SAC生態と更に協力してSAC生態を基礎とするゴールドジュエリー産業チェーンを建設することを望んでいる。

ゴールドジュエリー市場は現在多くの欠点が存在し、例えば、資金のアイドル期間が長くて、資金の利用率は低くて、ユーザーシステムは完璧ではなくて、産業チェーンの参加者の制御力が弱いことなどがある。ゴールドなどの貴金属の発言権を持つ機構として、コーナーストーン投資家は、ブロック技術を通じて業界の効率を向上させ、ユーザーのコストを低減し、全産業チェーンを接続することを望んでいる。

SACの生態に基づいて、可能なブレークスルーポイントを含む：

ユ-ザポイント体系：

異なるフランチャイジーのユーザデータが開き、SACデータリンクにアップロードされ、一定のスコアシステムを通じて、SAC生態に移行し、ユーザーの変換の限界を低下し、ユーザーにより多くの付加価値を提供する。

供給チェーンの追跡：

ブロックチェーンを通じて資産移転の過程を記録し、実際の資金の移行需要を低減し、資金の利用効率を向上させ、そして資産記録を通じて、異なる参加者の信用度を測定し、将来のために産業チェーン効率をさらに向上させる準備をする。

その他、SAC生態のインテリジェントなアプリケーションシステムとデータシステムの助けを借りて、投資家はオンラインユーザーとオフラインユーザーを接続し、生態系全体の価値をより高めることを望んでいる。

第六部分 チームの紹介

チームの紹介

SACチームは大中華エリア技術チームとアメリカコンサルティングチームの二部分に分かれている。

- 大中華エリアチームは元テンセン、HUAWEI、華大基因及び平安科技の技術者より組成される。
- アメリカコンサルティングチームはNasgoチームにより構成され、Nasgoチームはカスタマイズサイドチェーン、スマート契約及びDappアプリケーション委託管理サービスを提供する。



**SACグローバル理事会理事長
Michael.Wu**

元米資投資銀行総裁
現台湾フババ財商学院創始者
カンボジア 邦泰グループ 国際投資部総裁
中国深セン 嘉禾泰盛投資部チーフ執行官
上海多燕瘦アジア太平洋エリアチームコンサルタント
台湾エリア兆汎國際 投資部総裁

彼は財商訓練及び金融市場営業分野に30年以上の勤務経験があり、中国及び中国台湾、マレーシア市場に数十社の会社を持ち、フババのサポートでオンライン、上場している。



SACチーフ技術コンサルタント Steven. Wang

アメリカNasgoチーム創始者とチーフ科学者
Nasgoチームは脱中心化の企業資産及びアプリケーションプラットフォームを作り上げた。

カスタマイズサイドチェーン、スマート契約、脱中心化アプリケーション委託管理を精通し、快速に上層ブロックチェーンアプリケーションを構築することができ、企業が勢力を業務自身とビジネスモードの運営に集中するようにサポートし、企業、顧客、機構が多様化なアプリケーション場面にて受益させることができる。

第七部分 奨励計画

SAC奨励計画は二つの部分に分けられている：連盟計画及び特別貢献奨励。

連盟計画：ユーザーP1がウェブサイトで登録したあと、推薦のリンクが獲得できる、その他のユーザーP2がこのリンクをクリックして登録に成功すれば、P1はP2の推薦者になる。ソーシャルグループへの加入及びウォレットAPPをダウンロード、登録することによって、ユーザーは奨励として1-100枚のSACトークンが獲得できる。推薦した人が一人増加するごとに、別格奨励を獲得する確率が5%増える。

以下は推薦手数料を獲得するいくつかの推薦計画方案である：

SACに投資する願望がある友人を招いてICOに参与する；

SACのプロモーションに参与して、自分の推薦リンクをプロモーションする；

ソーシャルネットワークで推薦リンクを発表する。

特別貢献奨励： SACのソーシャルグループイベントに参与し、積極的に発言して、及びSAC生態に技術貢献をすれば、SACトークンの奨励が獲得できる。奨励の額は10,000～100,000SACトークン。傑出な貢献をした者はSAC技術チームに招かれ、SAC生態の研究開発と維持に参与する。

第八部分 免責と声明

本白書にて明確に記載された内容以外、SACプラットフォームはSAC或いはSACトークンに対してあらゆる陳述若しくは保証（特にその販売適応性と特定機能について）をしない。あらゆる者がSACトークンの公開発売計画に参与、及びSACトークンを購入する行為は何れも本人がSAC及びSACトークン、並びに本白書の情報に対する理解に基づいていると見なされる。前述内容の普遍適応性を損なわない前提で、全ての参与者はSACプロジェクトスタート後に現状に従ってSACトークンを受け入れ、技術スペック、パラメートル或いは機能などに関わらず。

SACは下記の場合における責任を否認し、負担することを拒否するところで明確にする。

SACは下記の場合における責任を否認し、負担することを拒否するところで明確にする。

あらゆる者がSACトークンを購入した際に、あらゆる国のマネーロンダリング防止、テロ対策融資或いはその他の管理監督の要求に違反した場合。

あらゆる者がSACトークンを購入した際に、本白書に規定したあらゆる陳述、保証、義務、承諾或いはその他の要求に違反した場合、及びそれによって支払い不可、或いはSACトークンの引き出しができなくなった場合。

あらゆる原因によるSACトークンの公開発売計画がドロップされた場合。

SACの開発失敗、遅延或いは延期、及びそれによってSACトークンの交付ができるない、或いは交付が遅延した場合。

エテリアム或いはブロックチェーンソースコードのシステムホール、ミス、欠点、崩壊、ロールバック或いは硬性分岐などの技術問題によるプラットフォームの故障。

公開発売により募集した資金に対する使用。

あらゆる参与者がデジタル暗号化貨幣或いはトークンのウォレットプライバシーキーを漏洩、紛失或いは損壊した場合。

SACトークン公開発売の第三者プラットフォームの違約、規則違反、権利侵害、崩壊、麻痺、サービス停止或いは一時停止、詐欺、誤操作、不正行為、ミス、粗忽、破産、生産、解散或いは営業停止。

あらゆる者がSACトークンを利用した取引と投機行為。

SACトークンはあらゆる取引所における上場取引或いは撤退。

SACトークンはあらゆる政府、主管当局或いは公共機構に貨幣、証券、商業証票、流通証票、投資品或いはその他の事物と分類或いは見なされ、それに

より禁止、管理監督或いは法律制限された場合。

本白書において披露したあらゆるリスク要素、及び該当リスク要素と関連があることによって発生した損害、損失、クレーム、責任、懲罰、コスト或いはその他のマイナス影響。

リスク声明

SAC開発と運営チームは、SACの開発、維持と運営の過程中に数え切れないリスクが存在すると認識しており、このうちの多くのリスクはSAC開発と運営チームのコントロール範囲から超えている。本白書に記述したその内容以外、全てのSACトークンの購入者は下記リスクを細かくお読み、理解した上でよく考慮してから、今回の公開発売計画に参与するか否かを決めるべきである。

全てのSACトークンの購入者は下記事実を特別に注意すべきである：SAC開発と運営主体がバヌアツ共和国で設立しているものの、SACとSACトークンは何れもネットワークの仮想スペースに存在し、あらゆる有形的な存在ではないので、あらゆる特定の国に属し、或いは関連することがない。

今回の公開発売計画に参与することは、必ず良く考慮したうえで決定した行動であり、購入者がすでに下記リスクを充分理解し、受け入れたと見なされる。

1、公開発売計画の終止

今回のSACトークン公開発売計画は前以て終止される可能性がある、その際に購入者はビットコイン／エテリアムコインの価格変動及びSAC開発と運営チームの支出により、支払った金額の一部のみが還付されるかもしれない。

2、不十分な情報提供

本白書が発表される現在、SACは依然として開発段階にあり、その哲学理念、コンセンサスメカニズム、アルゴリズム、コードとその他の技術細部とパラメータは常にかつ頻繁に更新と変化が発生する可能性がある。本白書にSACの最新な重要情報が含まれているものの、それが絶対的に完璧ではなく、またSAC開発と運営チームに特定の目的により調整と更新が行われる場合がある。SAC開発と運営チームは隨時參與者にSAC開発中のあらゆる細部（スケジュールと予期進捗を含め、延期するか否かに関わらず）を告知する能力と義務がない、なのでSACの開発中に絶えず発生する情報を購入者にリアルタイムでかつ充分に接触させることが必然的ではない。情報披露の不十分は避けられない且つ合理的である。

3、管理監督措置

暗号化トークンは各国の主管機関に管理監督されている、若しくは管理監督されているかもしれない。SAC開発と運営チームは時々主管機関の調査、通知、警告、命令或いは裁定が受ける可能性があり、場合によっては今回の公開発売計画、sac開発或いはSACトークンの行動を中止或いは終止するよう余儀なく命令される可能性さえある。SACの開発、営業、宣伝或いはその他の方面及び今回の公開発売計画が何れもそれによって厳重な影響、阻害を受けて或いは終結させられる可能性がある。管理監督の政策が隨時に変化が現れるかもしれないのに、あらゆる国が現時点でのSAC或いは今回の公開発売計画の許可或いは容認は一時的であるかもしれない。国によって、SACトークンは隨時仮想商品、デジタル資産或いは証券或いは貨幣として定義される可能性があるので、一部の国で現地の管理監督の要求に基づくと、SACトークンの取引と所有が禁止される可能性がある。

4、暗号学

暗号学は絶えず変遷しており、あらゆる時の絶対的な安全性が保証できない。暗号学の進歩（例えばパスワードのクラッキング）或いは技術進歩（例えば量子コンピュータの発明）は暗号学に基づくシステム（SACを含めて）に危険を齎す可能性がある。これによって、あらゆる所有されているSACトークンが盗難、紛失、消失、壊滅或いは切り下げの可能性がある。合理的な範囲内で、SAC開発と運営チームは自主的に予防或いは挽回措置を採取して、暗号学のあらゆる進歩に備えてSACの基層プロトコルをグレードアップし、及び適切なタイミングで新しい合理的な安全措置を導入するようとする。暗号学と安全革新の将来は予期できないことであり、SAC開発と運営チームはなるべく暗号学と安全領域の絶えずの変化に備えて行く所存である。

5、開発失敗或いはドロップ

SACは今のところ開発段階にあり、すでに準備完了で隨時に発表できる製品ではない。SACシステムの技術の複雑性により、SAC開発と運営チームは常に予期せぬ或いは克服できない困難に直面する可能性がある。なので、SACの開発はあらゆる原因により、あらゆる時に失敗或いはドロップする可能性がある（例えば資金問題）、開発の失敗或いはドロップによって、SACトークンは今回の発売計画のあらゆる購入者に交付できなくなる。

6、クラウドファンディングの盗難

SACプラットフォームが公開発売により取得した資金を窃取しようと企む人がいるかもしれない。該当窃盗或いは窃盗の企みはSAC開発と運営チームがSAC開発に資金を提供する能力に影響する可能性がある。SAC開発と運営チ

ームは最先端の技術方案を採取してクラウドファンディングの安全を保護するようとするものの、場合によってネットワーク窃盗を徹底的に阻止することが難しいのである。

7、ソースコードの欠点

SACのソースコードが完全に欠点がないと保証できない。コードに何らかの欠点、ミス、欠陥とホールがあるかもしれない、これらによって、ユーザーは特定機能が使用できず、ユーザー情報の漏洩或いはその他の問題が発生する可能性がある。もし確かにこれらの欠点があった場合、SACの使用性能、安定性或いは安全性を損ない、それによってSACトークンの価値にマイナス影響を齎すことになる。

8、安全の弱点

SACブロックチェーンはソースソフトに基づき、且つ進出許可がない分算式帳簿である。SACの開発と運営チームはSACのシステム安全を努力して維持しているものの、あらゆる者でも弱点或いは欠陥を意識的に或いは無意識にSACの核心基礎施設要素の中に齎す可能性がある。これらの弱点或いは欠陥に対して、SAC開発と運営チームはそれに対して安全措置を採取して予防或いは挽回することができない。これは最終的に参与者のSACトークン或いはその他のデジタルトークンの紛失を齎す可能性がある。

9、「分散式サービス拒否」攻撃

エテリアムは公開で且つ進出許可がない帳簿として設計されている。なので、エテリアムは時々「分散式サービス拒否」のネットワーク攻撃に遭遇する可能性がある。このような攻撃によって、SACシステムがマイナス影響を受け、

停滞或いは麻痺し、その上での取引が得てリアムブロックチェーンのブロックへの書き込み或いは記載が遅延され、ひいてはしばらく執行不可になる。

10、処理能力の不足

SACの快速的な発展に伴い、取引量が激増して、処理能力に対する要求も高くなる。もし処理能力の需要が得てリアムブロックチェーンネットワーク内のリアルタイムノードが提供できる負荷を超えた場合、SACネットワークが麻痺或いは停滞し、並びに例えば「ダブル消費」の詐欺或いは取引ミスが発生する可能性がある。最悪の場合、あらゆる者が所有しているSACトークンが紛失する可能性があり、エテリアムブロックチェーンロールバック或いは硬性分岐が触発される。これらの時間の余波はSACの使用性能、安定性と安全性及びSACトークンの価値を損なうことになる。

11、授権を経ずに発売待ちのSACトークンを引き受ける

SACトークン購入者のパスワードをクラッキングすることによって、購入者の登録メールアドレス或いは登録アカウント悪説権限を獲得したあらゆる者は、何れも悪意にSACトークン購入者が購入した発売待ちのSACトークンを取得することができる。なので、購入者が購入した発売待ちSACトークンは間違えて購入者の登録メールアドレス或いは登録赤うんとを通じてSACトークンを引受けるあらゆる者に発送される可能性がある。このような発想は撤回不可、逆転不可である。あらゆるSACトークンの購入者は下記措置を採取して自分の登録メールアドレス或いは登録アカウントの安全性を保護しないとならない：（i）安全性が高いパスワードを使用する；（ii）あらゆる詐欺メールをクリック、返答しない；及び（iii）自分の秘密と個人情報を厳格に守る。

12、SACトークンのウォーレットプライバシーキー

SACトークンを取得するのに必要なプライバシーキーの紛失或いは損壊は逆転不可である。ローカル或いはオンラインSACトークンウォーレットで唯一の共有キーとプライバシーキーを所有しないと、SACトークンを操縦することができない。あらゆる購入者は自身のSACトークンのウォーレットプライバシーキーをきちんと保管しないといけない。もしSACトークン購入者の該当プライバシーキーが紛失、漏洩、損壊或いは盗難された場合、SAC開発と運営チーム或いはあらゆる他者は購入者に関連SACトークンを取得或いは取り戻すことができない。

13、普及度

SACトークンの価値は很大程度でSACプラットフォームの普及度に取り決められる。SACは発行後の短時間内で幅広く受け入れられて、或いは普遍的に使用されると予期していない。最悪の場合、SACが長期的に边缘化され、限られた使用者しか惹き付けられない可能性さえある。比較的に、ほとんどのSACトークンの需要は投機性質があるかもしれない。ユーザーの欠乏により、SACトークンの市場価格の変動が激しくなり、SACの長期発展に影響する可能性がある。このような価格変動が現れた時に、SAC開発と運営チームはSACトークンの市場価格を安定させる或いは影響することはしない（その責任もない）。

14、価格変動

公開市場で取引される場合、暗号化トークンの価格変動が通常激しいのである。短期内での価格激震が常に発生する。街頭価格はビットコイン、エテリ

アムコイン、米ドル或いはその他の法的通貨で価格計算される。このような価格変動は市場パワー（投機取引を含め）、管理監督政策の変化、技術の革新、取引所の獲得可能性及びその他の客観的な要素により発生する可能性があり、このような変動は供給と需要のバランスの変化も反映している。SACトーケン取引の売買市場が存在するか否かに関わらず、SAC開発と運営チームはあらゆる売買市場におけるSACトーケン取引に責任を負担しない。なので、SAC開発と運営チームにSACトーケンの価格変動を安定させる義務がない。SACトーケンの取引価格が関連するリスクはSACトーケンの取引当事者が自ら負担する。